

ワクモトラップを活用した 簡易な駆除適期の判定法

畜産部

1 背景、目的

ワクモは吸血によりニワトリの健康を悪化させ、経済損失が大きいダニです。昼間は鶏舎の隙間に隠れるために見つけにくく、急激に増殖するので駆除がとても困難です。そのため、なるべくワクモが少ない段階で効率的な対策を行うことが重要です。

そこで、鶏舎に隠れたワクモの状況を、目視で把握できるワクモトラップを考案し、駆除適期を簡易に判定できる方法を開発しました。

2 成果の内容、特徴

- 1) ワクモトラップ（図1）はワクモが好む杉板を用いています。2枚の杉板を重ね合わせて蝶番でつなげ、折りたたんだ構造で板と板の間に3mm以下の暗い隙間ができます。この隙間にワクモが好んで入り込むため、既存のトラップよりもワクモを効率よく捕獲することができます。
- 2) ワクモトラップを鶏舎内のケージ卵受けに1晩設置し、翌日トラップを開いて捕まえたワクモの状況を写真（図2）のように寄生指数0から5までの6段階で判定します。
- 3) 寄生指数3以上と判定したワクモトラップの割合が鶏舎に設置したトラップ数の20%を超えるとワクモの被害である汚卵が増えるため（図3）、この時点から駆除する必要があります。

3 主要なデータ・画像など

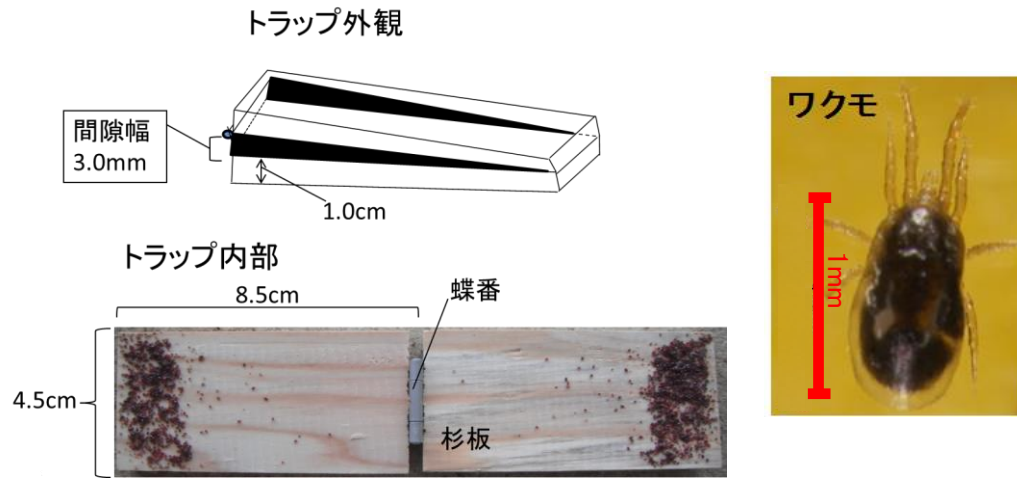


図1 ワクモトラップの概要とワクモ（体長1mm）

ワクモ数	寄生指数	トラップ内の状況
0	0	
1～10	1	
11～100	2	
101～1,000	3	
1,001～10,000	4	
10,001～	5	

図2 トラップの視認による寄生指数の判定方法

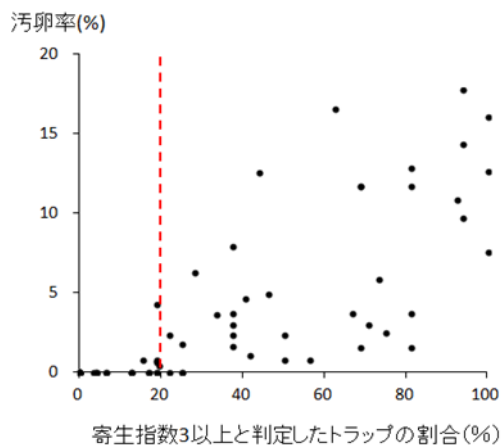


図3 寄生指数とワクモによる汚卵発生の関係

注) 寄生指数3以上と判定したトラップの割合 (%)

$$= (\text{寄生指数3～5のトラップ数} / \text{設置トラップ数}) \times 100$$